



▲宣言文は東川スタイル研究員・中川梨花さんが読み上げました。  
【椅子の日宣言文は次ページへ】

東川町は、4月14日を『良い椅子の日』と決めました。日本五大家具のひとつである「旭川家具」の約30%を生産する東川町。これを支えるのは、町内の30を超える家具事業者のみなさんの努力です。

町ではこの「椅子の日」をきっかけに、コロナ禍で大きな打撃を受けた家具・クラフト事業の経済回復と、東川町の家具振興・発展によるまちの活性化を、みなさんと共に実現していきます。

※(一社)日本記念日協会に「家具の町東川町・椅子の日」が記念日として登録されました。

壁材のルーバーをイメージ



▲隈研吾 × (株)ウッドワーク

隈 研吾氏デザイン

×

東川町内家具事業者製作の  
コラボレーション。

「東川の職人なら  
実現できるのではないか」という  
隈研吾氏の  
挑戦的な2つのデザインが  
カタチになりました。

曲木のつややかなカーブ



▲隈研吾 × TIME&STYLE/  
アートクラフトバウ工房/滝沢ベニヤ(株)



良い椅子の日  
4月14日 制定



▲東川ミーツ せんとびゅあⅡ店  
町内でつくられた自慢の家具・クラフトを中心に展示販売。

旭川駅前店、旭川空港内コーナーに続く3店舗目の【東川ミーツ】が、せんとびゅあⅡ内にオープン。他2店舗と大きく異なるのは、家具・クラフトを中心に取り扱いしている点。

メーカーズトンネルでは東川町のものづくりを支える事業所を紹介しています。



▲MAKERS TUNNEL  
作り手の「ものづくりに対する想い」が伝わる空間です。

せんとびゅあⅡでは“人生に寄り添う”家具として、町内木工事業所製作の『自慢の椅子』『ワーク&ライフチェア』『子どもの椅子』計58脚を一挙に展示。実際に触れたり座ることができます。

隈研吾氏デザインの椅子もこちらで目に見ることができます。

せんとびゅあⅠギャラリー1では「椅子の日制定記念織田コレクション展 世界の名作椅子ベスト20」も開催中。名作と言われる椅子たちがどのように生まれたのかを垣間見られます。



▲椅子の日関連展示  
【会期】5月5日(水)迄